

仙北市景観計画変更に向けた検討の背景

景観計画策定からこれまでの主な流れ

| | |
|-------------------|---|
| 平成 27 年 6 月 | 仙北市景観計画 策定 |
| 平成 28 年 1 月 1 日 | 仙北市景観条例 施行 |
| 平成 28 年 11 月 30 日 | 「山・鉾・屋台行事」（「角館祭りのやま行事」含む）がユネスコ無形文化遺産に登録決定 |
| 平成 30 年 10 月 1 日 | 景観づくり市民会議（第 1 期）の設置 |
| 令和 2 年度～令和 4 年度 | 火除け地発掘調査 |
| 令和 3 年 2 月 9 日 | 景観づくり市民会議と市議会議員との懇談会（産業建設常任委員会） |
| 令和 3 年 4 月 13 日 | 景観づくり市民会議と門脇市長との意見交換 |
| 令和 3 年 5 月 12 日 | 景観づくり市民会議より、「景観形成重点地区及び火除けの景観に関する上申書」の提出 |
| 令和 3 年 6 月 30 日 | 景観学習教室（角館小学校 6 年生 76 名） |
| 令和 4 年 4 月 1 日 | 仙北市観光文化スポーツ部 歴史まちづくり推進室の設置 |
| 令和 4 年 7 月 1 日 | 火除け地復元検討委員会の設置 |
| 令和 4 年 7 月 7 日 | 景観学習教室（角館小学校 6 年生 65 名） |
| 令和 4 年 8 月 | 仙北市景観計画改定に関する住民意向調査の実施 |

「仙北市景観計画」は、作って終わりの計画ではなく、様々な状況に応じて計画内容を徐々に充実させていく、成長型の計画としています。

近年、新型コロナウイルスによる観光等への大きな影響を受けつつも、上表に示したように、「景観づくり市民会議」における望ましい角館地域の景観のあり方検討と「上申書」の提出、「火除け地復元検討委員会」による検討の開始など、日本有数の景観を誇る【角館】およびその周辺の景観をさらに向上するべきという機運が高まってきました。

以上のような背景から、長期的な視点を持ちながら角館の景観の維持・向上を図るため、このたび、「重点地区」の設定を主目的とした計画変更の検討を進めているところです。